

## 目標達成計画

事業所名：グループホームしづく

作成日：令和 5年 3月 22日

市町村受理日：令和 5年 3月 23日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議について、ご家族への送付(参加)の意識が持ち得ていなく、送付という視点が全くなかった。	対面での実施の際はもちろんのこと、現状実施している書面での開催においても、ご家族への検討事項の送付、議事要旨の作成送付・意見を広く集め、施設の運営に参画し、一緒にすづくのあるべき姿を模索することを目標とする	令和5年度第1回目の運営推進会議資料の送付を実施する。また、これに伴い運営推進会議の資料送付を、月初に移行する	令和5年5月中
2	35	自然災害を想定した避難訓練に関しては、同敷地内同法人施設の連携の上、BCP策定していくことが現実的な対応と考えているが、外部評価の時点において、諸々の事情からコンセンサスを得られていないため、実施に至っていない	両施設で連携を図り、どのような状況になってもBCPに基づいた対応がとれるように、BCPを確定させる	避難行動に向けての、コンセンサスの形成。一体的なBCPの作成、避難行動訓練の実施	令和6年3月
3	36	声掛けを一つ間違えると、スピーチロックや精神的な虐待につながることに理解がない。また、それらについては不適切な対応ではなく、刑法にかかる恐れがあることについての理解がない。また、言葉遣いが、高齢者心理を通じて心身にどのような影響を与えるかの知識が不足しているため	接遇や声掛けについてのゴールはなく、上を見れば無限に広がるとの理解であるため、目標は定めにくい。ただ、少なくとも、刑法犯にはつながら可能性があるということの理解は達成したい	最終的には身体拘束や高齢者虐待については、資質の問題を除けば、知識の不足に依ることがほとんどであるということに帰結する考えの元、研修、特に外部研修のさらなる充実を図り、自己覚知を図るとともに、人事考課を通じての自己理解、また、総合的に自己研鑽にベクトルが向くよう取り組んでいく。性質上、達成時期を定める性質のものではないため、開始時期を右に記す	令和5年4月より
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加してください。